



# 平田村は新エネルギーを導入します<sup>どう にゅう</sup>

平田村、そして地球の未来のために...

平田村地域新エネルギービジョン<sup>がいようばん</sup>概要版



平成18年2月  
福島県平田村



# わたしたちの未来に危機が迫っています

## 地球温暖化

地球が暖くなると様々な悪影響がでてきます



電気、ガス、ガソリン、灯油などのエネルギーの利用は、わたしたちの暮らしをととても便利で快適なものにしてくれます。

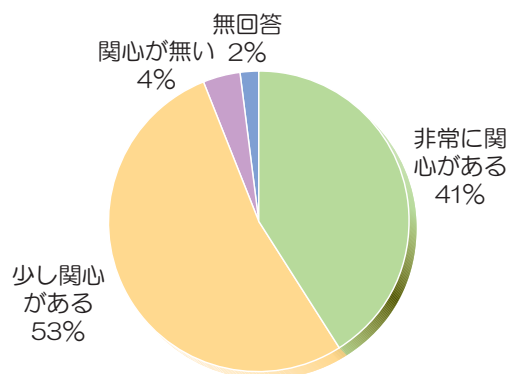
一方で、この便利さ・快適さと引きかえに、“地球温暖化”のおもな原因といわれる二酸化炭素を大気中に大量放出しているのです。

地球温暖化は、ただ地球の温度が上昇するだけではありません。  
気温の上昇による気候の変化は、降水量の変化を引き起こし、  
動物や植物の生息・生育環境などに影響をあたえます。

その結果として農林水産業、人の健康、自然災害の増加など、  
様々な被害を受けることが心配されています。

### 地球温暖化による日本への影響例

- 農業………作物の種類や収穫量の変化
- 観光産業……海水浴場・スキー場への影響
- 防災………高潮や台風などの増加
- 人の健康……蚊などによる感染症危険地域の増加



地球温暖化に対する関心  
(村民へのアンケート調査結果)

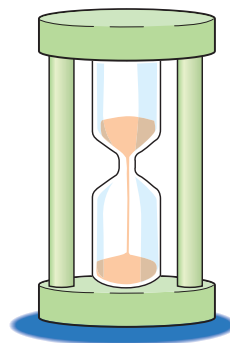
## 化石燃料資源の枯渇

すでにカウントダウンがはじまっています

いまのペースで化石燃料資源を使用していくと、石油は約40年、天然ガスは約60年、石炭は約200年で採取できなくなるといわれています。

省エネルギーにより化石燃料の使用量を減らし、採取の寿命を延ばしたとしても、化石燃料資源に頼っているかぎり、いずれは採りつくしてなくなってしまいます。

今、化石燃料資源に頼り切った社会を変える取組みをはじめる必要があります。



## 平田村のエネルギー使用状況

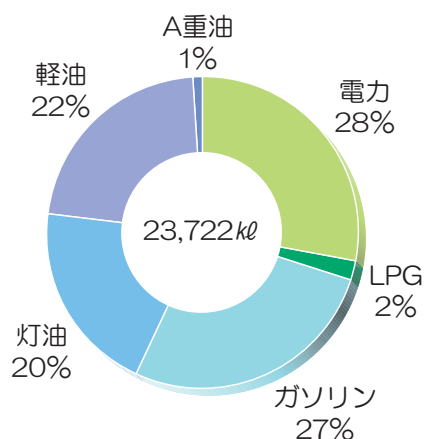
みんなが地球温暖化・化石燃料資源の枯渇に対する“加害者”です

地球温暖化や化石燃料資源の枯渇は“ひとごと”ではないのです。

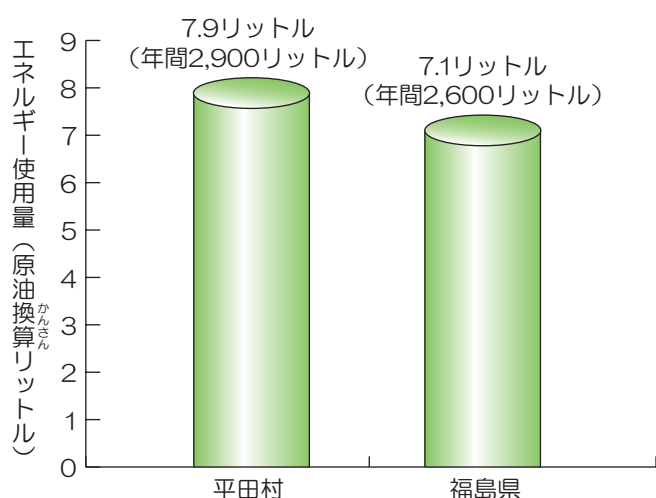
化石燃料資源を使用し、その恩恵を受けている全ての人が当事者であること（被害者であると同時に加害者であること）を認識しなければなりません。

### 平田村のエネルギー使用量（原油換算）と二酸化炭素排出量（平成16年度）

#### ● 村のエネルギー総使用量



#### ● 1人1日あたりのエネルギー使用量



#### ● 二酸化炭素総排出量

69,349トン -CO<sub>2</sub>

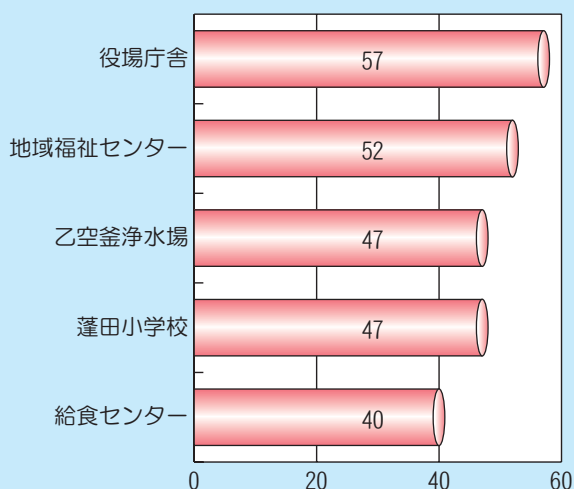
#### 平田村エネルギーコラム①

公共施設のうちエネルギー使用量が多いのは？

村所有施設のうち、エネルギー使用量の多い施設は右のグラフのとおりです。

今後、村は省エネルギーを徹底し、エネルギー使用量を減らしていきます。

特に蓬田小学校は、校舎改築時に床暖房施設を導入したため他の村内小中学校の2倍以上のエネルギーを使用していることから、重点的に省エネルギーを推進していきます。



エネルギー使用量（原油換算キロリットル）

村所有施設のエネルギー使用量トップ5



## 平田村は新エネルギーの利用に取り組めます

平田村は、地球環境<sup>かんきょう</sup>を保全するとともに資源の枯渇<sup>こかつ</sup>を防止し、村が誇る豊かな環境<sup>ほこ</sup>と快適<sup>かんきょう</sup>な暮らしをこどもたちに引きついでいくため、自然のチカラなどを利用した“新エネルギー”の利用を進めていきます。





## 新エネルギー利用に期待する効果

### 地球温暖化防止・化石燃料資源の節約

化石燃料使用量および二酸化炭素排出量の削減を行い、地球温暖化を防止します。

### エネルギー自給率の向上

災害時や原油価格の高騰の際においても、村民が安心してらせるよう、本村のエネルギーの自給率を高めていきます。

### 環境負荷の低減

ごみをエネルギー源として利用するなど、幅広い視野から環境負荷低減に貢献していきます。

### 健全な森林の育成

村の森林の維持・管理を効果的・効率的に推進するため、木質バイオマスの利用に総合的に取り組みます。

### 人づくり・ネットワークづくり

村民や事業者の意欲・ノウハウを発掘・活用し、人づくり・ネットワークづくりを目指します。

### 村のPRと地域交流の促進

本村の新エネルギー利用を外部へPRし、視察・見学等の来訪者の数を増加させ、地域交流を深めていきます。

### 地域の魅力向上

新エネルギー施設を新たな観光資源として活用し、地域の魅力向上と観光産業の振興を目指します。

### 雇用創出・経済発展

新エネルギー利用をきっかけとする雇用機会の創出、企業参入など、経済発展を目指します。

#### 平田村エネルギーコラム②

#### 村役場の新エネルギー導入の取り組み

村役場は、平成11年度からクリーンエネルギー自動車の導入に取り組んでいます。

現在、公用車29台のうち4台がクリーンエネルギー自動車（電気とガソリンのハイブリッド車）になっています。

燃費実績は良好で、ガソリン1リットルで25kmも走行します。

この取り組みにより、1年間で約2,200リットルのガソリンを節約し、二酸化炭素の排出量を5.2トン削減しました。



村が導入したクリーンエネルギー自動車4台は、公務に大活躍しています。



どう にゅう

# 導入メニューと目標

し さくたいけい

## 施策体系と目標値



原油換算で600キロリットルの新エネルギーを導入

## 導入メニューの一例

### ●環境配慮型公営住宅建設事業●

平成23年度以降に建設が計画されている公営の集合住宅に対しては、太陽光発電を中心とする新エネルギーを導入するとともに、地元木材の利用、リサイクル建設資材の利用、ガスヒートポンプの利用など、「環境配慮型公営住宅」として建設していきます。

### ●研究機関との協働による小型風力発電普及事業●

現在、福島県ハイテクプラザ（郡山市）では、低価格かつ高効率の小型風力発電機の開発が進められています。村は、福島県および関連機関に対してこの風力発電機の村内の公共施設・一般家庭・事業所への試験導入の提案等について積極的に働きかけ、導入促進を図っていきます。

### ●学校等における環境学習メニューの充実●

こども達の環境保全に関する意識高揚及び郷土に対する愛着心を高め、さらには本村を含めた地域の将来を担うリーダーの育成を目指して、総合学習の時間等を活用して省エネルギー・新エネルギーをはじめとする環境教育を充実していきます。

### ●新エネルギー導入補助制度の検討●

新エネルギーの導入に対しては、国等による補助制度がありますが、村内への新エネルギーの広い普及を目指し、村独自の補助制度の創設を検討します。

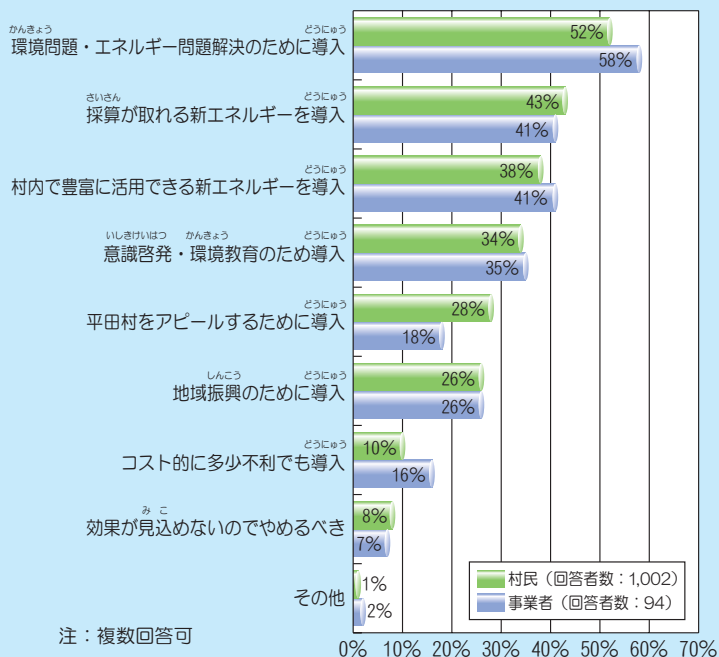
#### 平田村エネルギーコラム③

#### 期待されている新エネルギー導入事業

平成17年8～9月に実施したアンケート調査において、村の新エネルギー導入施策について聞いたところ、平田村の皆様が新エネルギーに様々な期待を寄せていることがわかりました。

平田村は、新エネルギービジョンの策定をきっかけとして、これまで以上に環境・エネルギー対策を推進してまいります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



平田村の新エネルギー導入の方向性について  
(村民・事業者へのアンケート調査結果)



# 新エネルギー導入事業の進め方

新エネルギー導入事業は、当面の間は10カ年計画で推進していきます。

事業は、村による「率先導入段階」と村民・事業者の皆様に対する「普及促進段階」の2段階にわけて推進していきます。

また、事業の進捗を定期的にチェックし、その結果を皆様に広く公表していきます。

そっせんどうにゅう

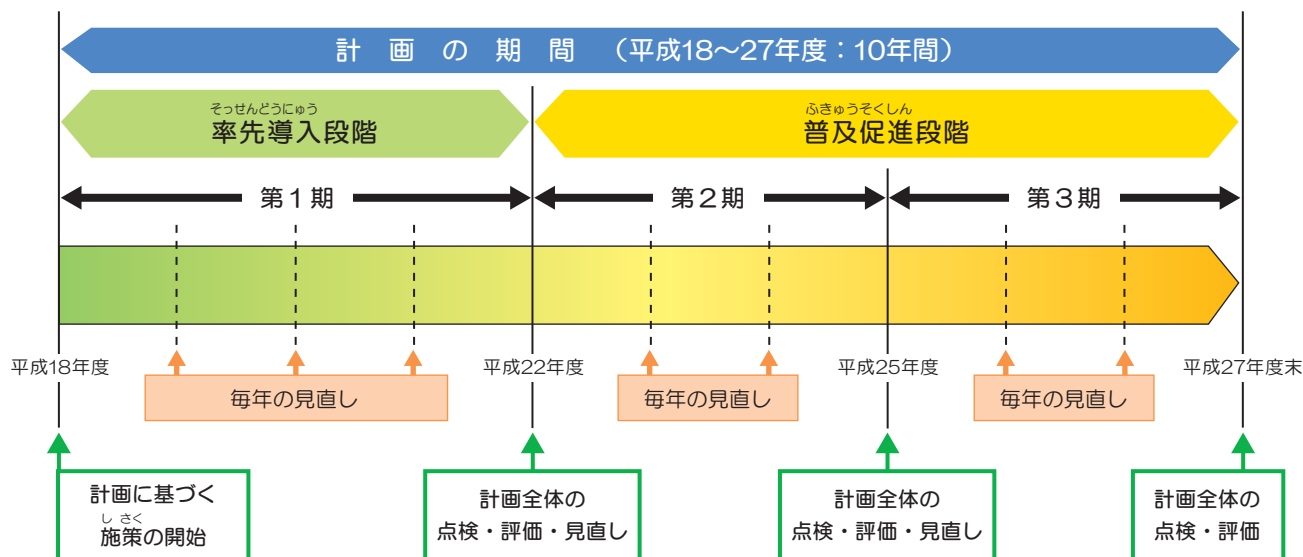
## 率先導入段階（平成18～21年度：4年間）

- 村民・事業者の皆様のお手本となるべく、村が率先して新エネルギーを導入します。
- 村の新エネルギー導入の取組みや新エネルギー関連情報を積極的に提供していきます。
- 必要に応じて新エネルギー導入に向けた詳細調査を実施します。

ふきゅうそくしん

## 普及促進段階（平成22～27年度：6年間）

- 村民・事業者の皆様へ新エネルギー導入が促進するよう、サポートを行っていきます。



表紙は蓬田小学校2年生の元気な児童のみなさんです。

お問い合わせ先：平田村総務課

福島県石川郡平田村大字永田字広町34

TEL：0247-55-3111 FAX：0247-55-2452



この冊子は、古紙100%の再生紙及びVOC成分が1%未満のインキを使用して印刷しています。